

平成26年度第1回三宮構想会議

平成26年7月31日

## 第1回 三宮構想会議

1 日時 平成26年7月31日（木） 午後3時00分～午後5時00分

2 場所 神戸市役所1号館14階 大会議室

3 出席者

### 【委員（25人）】

#### （1）地元組織代表

小田 俱 義	永 田 耕 一
久野 茂 樹	古 川 勝
菰池 将 祥	松 下 秀 司
土 井 一 三	

#### （2）交通事業者代表

庄 健 介	上 杉 雅 彦
平 野 剛	宇都宮 道 夫
宮 本 一 郎	中 谷 靖（代理 梶谷）
湯 山 佐世子	西 村 幸 久（代理 北村）
横 山 章	吉 川 紀 興

#### （3）経済界

植 村 一 仁	松 田 茂 樹
植 村 武 雄	

#### （4）学識経験者

小 谷 通 泰	相 良 二 朗
加 藤 恵 正	末 包 伸 吾
小 浦 久 子	

### 【オブザーバー（3人）】

国 土 交 通 省	林 良 太 郎
兵 庫 県	笠 尾 卓 朗（代理 藪本）
兵庫県警察本部	杉 山 公 一（代理 稲田）

4 議事

(1) 会議資料の説明

(2) 意見交換

三宮周辺地区の目指すべき方向性と取り組むべき内容について

5 議事の内容 別紙のとおり

## 1. 開会

○三島都心三宮再整備担当部長

皆様、こんにちは。大変お忙しい中、ご参加いただきまして、ありがとうございます。開会に先立ちまして委員の皆様には1点、ご確認させていただきたいと思っております。

本日、報道機関より当会議の会議風景を撮影したい旨の申し入れがございましたので、議事に入るまでということに許可したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

○三島都心三宮再整備担当部長

異議がないようですので、撮影を許可することといたします。

報道機関の方は撮影をしていただいて結構です。

それでは、ただいまより第1回三宮構想会議を開催いたします。

私は、住宅都市局計画部の都心三宮再整備担当部長の三島と申します。事務局として、進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

まず、開会に当たりまして、神戸市長の久元よりご挨拶を申し上げます。

○久元市長

皆さん、こんにちは。このたび三宮構想会議を設置させていただきましたところ、皆様方におかれましては、快くこの会議への参画を承諾いただきまして、また、今日は第1回の会議を開催させていただきましたが、暑い中、また、お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

さて、神戸の確実な発展のためには、神戸の都心の再生が不可欠です。大まかに申し上げますと、北は新神戸駅周辺から南はウォーターフロントまで、そして、東は三宮駅の東側から西はハーバーランドに至る、この神戸の都心をどうしていくのか、現状をどのように変えていくのかということが大変重要です。そういう見地から、この3月に神戸の都心の未来を考える検討委員会を設置させていただきました。既に、この都心全体のあり方について検討を開始させていただいております。

そして、その中で、この都心の再生の鍵を握るのは、何と申しましても、この三宮です。三宮は神戸の玄関口でありまして、この三宮の再整備をどのようにしていくのかということは、都心のあり方を大きく決めることとなります。ひいては神戸市全体の発展に大きくかかわることとなります。

現状の三宮周辺は、ほかの都市との都市間競争を考えますときに、必ずしも今のままでいいと思っている市民の皆さんは、少ないのではないかと思います。

駅の乗りかえや、また、駅からまちの中に入っていき、そういう歩行者空間が大変狭い、入り組んでいてわかりにくいという問題がありますし、また、駅前広場が狭いためにバスの停留所があっちこっちに分散しております。タクシーの乗降場も大変狭いと、こういう問題がありますために、バスの出入りも大変時間がかかっているという問題があります。

そして、154万都市の玄関口にふさわしいインフォメーションサービスなどのサービス機能も、果たして十分なのかどうかという問題もあろうかと思えます。景観やデザインという面でも、ほかの都市に比べて見劣りがしているというところを感じておられる市民の皆さんも多いと思えますし、そういうご意見もたくさん伺っております。

そこで、この三宮をどうしていくのか。都心の委員会の方は神戸の都心全体のグランドデザインを描くということでしたが、この三宮の再整備は、よりもう少し集中的な検討が必要であろうというふうに考えております。

既に、この駅ビルの建てかえといった計画も具体化しております。そして、先ほど申し上げましたような課題を解決していくためには、神戸市の都市計画事業を含む事業化を早期に図っていかねばなりません。3層ネットワークを基軸とする歩行者空間のあり方、駅ビルの建てかえに伴う商業ビルのあり方、駅前広場やバスターミナルの再整備をどうするのかという問題、そして、駅前にふさわしいインフォメーション機能のあり方や、あるいは案内表示といった、こういう点についても、そして、先ほども申し上げましたが、景観や佇まい、デザインといった、こういう面での検討も不可欠です。

そうしたことから、より詳細に、この事業化を見据えた三宮駅周辺の再整備を検討していただくために、この三宮構想会議を設置させていただいたところです。

皆様方から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。そして、そのようなご意見を踏まえながら、この年度内には、この再整備に関する基本構想を取りまとめることができれば大変ありがたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げまして、この設置と開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

#### ○三島都心三宮再整備担当部長

それでは、これより三宮構想会議を進めるに当たりまして、まずはお手元の資料を確認させていただきます。

次第と会議資料につきましては、事前に送付させていただいております。本日、資料をお忘れの方がいらっしゃいましたら、おっしゃってください。

それでは、本日の配付資料としましては、事前に配付させていただいた資料2、委員名簿に訂正がありましたので、修正した資料2と、参考資料としまして、今回、ご議論いただく三宮周辺地区の平面図、その他としまして、本日、時間の関係で言い足りなかったご意見等を記入いただいて、送付いただく用紙と、神戸の未来のまちづくり300人会議のチラシをお配りしております。

なお、資料2につきましては、2点、訂正がございます。まず、委員としまして、K O B E三宮・ひと街創り協議会の久利会長から土井副会長に変更がございました。

また、タクシー事業者としてご出席いただいております、吉川会長の名字が間違っておりました。大変失礼いたしました。

## 2. 委員の紹介

### ○三島都心三宮再整備担当部長

続きまして、お手元の資料2、委員名簿をご覧ください。

本日のご出席いただいております委員の皆様をご紹介します。

所属、役職名等は省略させていただきます。

まず、地元組織代表の委員でございますが、できましたら、地元組織代表の委員の方々につきましては、一言ずつ2分以内で、三宮に対するそれぞれの地域の思いやお考えにつきまして、発言いただければと思います。

よろしくお願いいたします。

### ○小田委員

フラワーロード沿道まちづくり協議会の小田と申します。

昨日、たまたま、協議会の定例会議をやりまして、まちづくりは道づくりだというふうな意見が若い方から出ました。確かに神戸は南北、あるいは東西で不便なところがありますから、まず、三宮駅につきましては交通体系、あるいは歩行者への配慮といったことを重点的に取り上げていただきたいと思いますと考えております。

### ○三島都心三宮再整備担当部長

久野委員でございます。

### ○久野委員

久野でございます。

私が考えますに、こういう大都市の場合、一点集中してやらないと効果がないと思います。例えば、阿倍野では日本一高い百貨店ができたというような。大阪は3カ所ほどで、いつも競争していますが、神戸は三宮だけが競争するような地位にあるのですから、大阪にも東京にも負けないような、何かひとつ変わったものが必要だと思います。駅を大きくするのだったら、それによって、「神戸へ行ったらあのようなものがある、一度、行こうか」というように。何でも今、全国的に負けていると思います。そういうところを直していかないと、だめだと思います。

それと、私がいるところは、昔は歓楽街でしたが、今は歓楽街から飲食街にかわっています。だから、そういうまちの移り変わりも考えて、どうしたらまちがよくなるのかということ、久元市長にしっかり申し上げて、やっていただくということで、よろしくお願いいたします。

### ○三島都心三宮再整備担当部長

菰池委員でございます。

### ○菰池委員

三ノ宮南まちづくり協議会の菰池でございます。

私ども三宮南地区は、三宮ターミナルの南東部、中央幹線と税関線、浜手幹線、生田川に囲まれる地域です。三宮南地区には会社、事務所だけではなく、近年は小売店や飲食店、マンションも多く、多様な機能の複合性、雑居性がこの地区の特徴だと思っています。

そこで、当協議会では、働きやすく住みやすい、また、他所から来た人にも心地よさを感じてもらえるような魅力と活力あるまちづくりを目指しています。まちの存在を広く内外にアピールすることに力を注いでおりまして、毎年、音楽ライブや、最近では落語会など、多彩なイベントも開催しています。また、まちの魅力化のため、道路にプランターボックスを設置して維持管理をしたり、清掃活動であるクリーン作戦を磯上公園の周辺で発会当時から続けたりしています。

今後もイベントとクリーンとグリーンを基本として活動を続けてまいりたいと思います。

○三島都心三宮再整備担当部長

土井委員でございます。

○土井委員

K O B E 三宮・ひと街創り協議会の副会長の土井でございます。

私は、この三宮町で生まれまして、一時、学生時代は離れましたけれども、その10年ぐらを除きまして、このまちで生まれ育ち、ずっと商売もさせていただいています。ですから、このまちの栄枯盛衰、並びに、幾多の店の移り変わり、そういったものを毎日のように見ており、最近は、寂々たる思いをしています。個人的なことを言いますと、私の店もついにセンター街から別の場所に移りました。フラワーロードですので近くですが。まちというのは互いに競争するという事は正しいのだけれども、本当は人間は競争しなくても豊かに生きるために努力をしていると、個人的には考えています。

ですから、この場でも、他都市に負けない神戸の都心づくりというふうなことを、みんなで議論すると思いますが、本当に望ましいのは戦わずして勝つ、そういった駅、そういったまちをつくることで、これが本当の目的ではないかと思えます。そういったことを何とか、皆さんの知恵をまとめてつくり出したいと、考える次第です。よろしく願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

永田委員でございます。

○永田委員

三宮中央通りまちづくり協議会の永田でございます。

僕も同じく、神戸に生まれまして、途中、大学時代はこちらにおりませんでしたけれど今までずっと神戸に住んでいます。うちの商売は、明治5年の創業で、ずっとこの場所で続けています。142年間、神戸というまちに関わって、うちの家業が続いてきました。

ですから、まちが、どんなふうに変わっていったか、そして、どんなことが起こってきたかということ、ずっと見てきました。その中で、三宮中央通りというのは、センター

街の南側に平行して、居留地との間にあるわけですが、この中央通りがちょうどある場所、フラワーロードから鯉川筋の間ですが、このエリアをきちんと組み立て直していないと、結局、三宮駅だけがよくなるということになり、だめだと思います。

まちをきちんと組み立てていくために、交通機関というのは、もちろん必要なことですから、三宮へ集約していくのはいたし方ないとは思いますが、三宮から元町に至るまでの間を、交通機関も含めてどんなふうに組み立てていくのかということが、都心の構想を詰めていく中で、どうしても必要なことになると考えています。

ぜひ、そういう形で話が進んでいくように心から祈りまして、参加させていただいています。どうぞよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

古川委員でございます。

○古川委員

東まちづくりの会の古川と申します。

東まちづくりの会は、JR三宮駅南東で9つぐらいの団体で日々、活動している会ですが、今現在、私どももいろんな問題を抱えています。神戸の玄関口である、すぐそばで不法駐輪の問題があり、これがすごい台数の自転車がとめられています。また、スクランブル交差点がありますが、大型バスが、そのスクランブル交差点を行き来することによって、時間帯によっては、大変な渋滞が発生しています。

送られてきた資料を見ますと、なるほどなと思うすばらしい言葉が並んで感心しているのですが、これを実際、実在しているところに当てはめていくとなると、託された委員の責任は重大だと、つくづく思い、この場に臨んでいます。皆さんとともにしっかり議論していきたいと思います。

○三島都心三宮再整備担当部長

松下委員でございます。

○松下委員

光のデッキ回廊委員会の松下と申します。

この委員会は、2008年から、三宮近隣の、現在15社ですけども、商業施設、鉄道事業者の方と連携しながら、三宮の駅前を何とか活性化しようということで、活動をしている委員会でございます。

ほとんどの事業者が、毎日、多くの市民の方と、お客様と接していますので、まちに対しての思い等、お客様の声を、数多く集約できるのではないかと思います。そういう市民の声を、こういう場面で披露できればと思っています。

先般、ある人と地域の活性化について話をしていると、三つあると。一つ目は、名産品、地域の有名品。それを一生懸命売るということ。二つ目は、観光客を大勢呼ぶための観光施設。三つ目は、商業施設。この三つを合い持って、その地域は活性化されていくと

ということです。我々の役割である商業施設は、ハードだけでなく、中身のソフトも充実しないと魅力につながってこないと思いますので、その辺を議論させていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

ありがとうございました。

これ以降につきましては、委員のご紹介のみさせていただきたいと思います。

まず、交通の関係でございます。庄委員でございます。

○庄委員

阪急電鉄都市交通事業本部都市交通計画部で交通とまちづくり担当の部長をしておりま  
す、庄でございます。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

平野委員でございます。

○平野委員

J R 西日本近畿統括本部の平野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

続きまして、宮本委員でございます。

○宮本委員

神戸市交通局の宮本と申します。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

湯山委員でございます。

○湯山委員

阪神電気鉄道株式会社経営企画室で沿線活性化を担当しております、湯山と申します。  
どうぞよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

横山委員でございます。

○横山委員

神戸新交通の横山と申します。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

上杉委員でございます。

○上杉委員

兵庫県バス協会会長、そして、神姫バスの会長を務めております、上杉でございます。  
よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

宇都宮委員でございます。

○宇都宮委員

三宮バスターミナルのバス事業者部会の代表を務めてさせていただいております、西日本JRバスの宇都宮でございます。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

中谷委員の代理で梶谷様にご出席でございます。

○梶谷委員

関西国際空港リムジンバス等運営協議会、本日、中谷の代理ということで、梶谷と申します。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

西村委員ですが、本日は代理で北村様にご出席でございます。

○北村委員

大阪国際空港リムジンバス等運営協議会の、北村と申します。本日はよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

吉川委員でございます。

○吉川委員

兵庫県タクシー協会の会長を務めています、吉川でございます。日ごろお世話になっております。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

次に、経済界の委員でございます、植村一仁委員でございます。

○植村（一）委員

神戸青年会議所の植村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

続きまして、植村武雄委員でございます。

○植村（武）委員

植村でございます。神戸商工会議所の都市力創造委員会の委員長を務めています。どうぞよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

続きまして、松田委員でございます。

○松田委員

神戸経済同友会で顧問をしています、松田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

次に、学識経験者の委員でございます、小谷委員でございます。

○小谷委員

神戸大学の小谷でございます。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

加藤委員でございます。

○加藤委員

兵庫県立大学の加藤でございます。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

小浦委員でございます。

○小浦委員

大阪大学の小浦と申します。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

相良委員でございます。

○相良委員

神戸芸術工科大学の相良です。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

末包委員でございます。

○末包委員

関西大学の末包でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

なお、牧委員につきましては、本日、ご欠席ということでございます。

次に、オブザーバーとして参加いただく方をご紹介します。

国土交通省近畿地方整備局の林様でございます。

○林都市整備課長

近畿地方整備局の都市整備課長をしております、林と申します。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

兵庫県の笠尾様ですが、本日は代理で藪本様にご出席でございます。

○藪本氏

兵庫県の藪本です。本来、局長が来まして参加するべきところですが、今日はよろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

兵庫県警察本部の杉山様でございますが、本日は代理で稲田様にご出席でございます。

○稲田氏

県警本部交通規制課調査官の稲田でございます。よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

なお、国土交通省近畿運輸局の金丸様につきましては、本日、ご欠席ということでございます。

出席者のご紹介は以上でございます。

大変申しわけございませんが、ここで久元市長は公務のため退席させていただきます。

では、お手元の資料、三宮構想会議開催要綱をごらんください。

第4条に基づき本構想会議の進行を努めていただく会長につきましては、事前に神戸市からご依頼をしております、神戸大学の小谷教授にお願いしたいと思っております。

小谷会長、よろしくお願ひいたします。

まず、一言、ご挨拶をお願いいたします。

○小谷会長

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、神戸大学の小谷でございます。

まことに僭越でございますが、本会議の会長を務めさせていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、先ほど、市長からもお話がございましたように、本会議の目的は三宮駅、三宮周辺地区におきます再整備につきまして、事業化を見据えた、より具体的な検討を行うことでございます。この点が、先行して設けられております神戸の都心の『未来の姿』検討委員会との大きな違いではないかと考えております。

したがいまして、議論の中におきましては、具体的に、どのような地区で、どのような箇所で、どのような対策を、整備を進めていくべきか、ハードだけではなく、ソフトな対策も含めまして、委員の皆様方からぜひともアイデアを披露していただければと思っております。

今会議の所期の目的が達成できますように、微力でございますが尽力するつもりでございますので、何とぞ、皆様方のご協力をよろしくお願ひいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

小谷会長、ありがとうございました。

それでは、報道機関の撮影は、ここで終了といたします。

ここからの進行につきましては、小谷会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

### 3. 議事

#### (1) 会議資料の説明

○会長

それでは、お手元の次第に従いまして議事を進行したいと思います。

議事次第、会議資料の説明につきまして、事務局よりお願ひいたします。

○若林都心三宮再整備担当課長

住宅都市局計画課の都心三宮再整備担当課長をしております、若林と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは、私のほうから議事次第3の(1)にあります、会議資料の説明をさせていた

できます。

これにつきましては、事前に説明資料をお送りさせていただいて、お目を通していただいているかと思っておりますので、簡単にさせていただきたいと思っております。

まず、資料3、「三宮周辺地区の『再整備基本構想』について」です。

これにつきましては、先ほど市長からもお話しさせていただいたとおり、この三宮周辺地区の再整備基本構想というものを、既に検討委員会を立ち上げております将来ビジョンとは別に議論していくということでございます。先ほどから何度か申し上げているとおり、三宮周辺地区の目指すべき姿の実現に向けて、事業化を見据えた具体的な計画や構想を示していくということを主に目的としており、その検討対象範囲につきましては、この神戸の玄関口である、三宮駅を中心とした、おおむね半径500メートル程度ということですので。これはおおむねの範囲ということなので同心円ということではございませんし、これからの議論の中で一定の範囲になってくると、思っています。

次に、資料4、「三宮構想会議について」をご覧ください。

会議の設置目的でございますが、この神戸の玄関口である三宮周辺地区の再整備につきましては、その波及効果の高さから神戸のまち、また、経済全体を活性化する上で不可欠であり、そういった中で民間活力の導入を図りつつ魅力的で風格ある都市空間を実現していくと、そのため、事業化を見据えたより具体的な検討を行う必要があるという考えのもと、皆様から、さまざまな観点からのご意見やアイデアをいただきたいということで、設置させていただいています。

また、会議の進め方ですが、本日、第1回ということですが、この26年度中に、5回程度、開催し、皆様からご意見をいただきつつ、三宮再整備基本構想を策定できたらというように考えています。

次に、資料5、「三宮周辺地区の目指すべき方向性について」、でございます。これにつきましては、既に神戸市で策定している、神戸市総合基本計画や都市計画マスタープランなど、さまざまな計画がございますけれども、そういった計画における、この三宮周辺地区の位置づけを整理して、目指すべき方向性や取り組むべき内容を抽出しています。

次に、資料6、三宮周辺地区の課題と、神戸の都心の『未来の姿』検討委員会でのご意見、いわゆる、先ほど方向性といった話とは別に、現状を見渡して、こういった課題があるのかについてですね、これまでいろいろ意見募集だとか、また検討委員会でご意見をいただいております。それを改めて整理させていただいております。これにつきましては、本日、出席の委員の方々も多数『未来の姿』検討委員会にもご出席ですので、何度も目にしているような言葉が並んでいるかと思っております。

資料の説明につきましては、以上でございます。既にご覧になっていると思っておりますし、こういったことは基本的には、既にわかっているという前提のもと、どれを解決していく、また、改善していく、こういった形でやれば、よい方向にいくのかということにつきまして

て、ぜひとも皆様からご意見を頂戴したいと、思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございます。

ここまでのところで、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

特にございませんようですので、これから意見交換に移りたいと思います。

それに先立ちまして、まず、事務局のほうから、今回のテーマであります、三宮周辺地区の目指すべき方向性と取り組むべき内容につきまして、ご説明をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○三島都心三宮再整備担当部長

先ほど、市長と若林からご説明させていただきましたが、神戸市では、平成26年度中に三宮周辺地区の再整備基本構想を取りまとめていきたいと考えております。この再整備基本構想につきましては、三宮周辺地区の目指すべき姿の実現に向けて事業化を見据えた計画、構想を示すものと考えておりました。三宮周辺地区に必要な機能、これはハードだけではなくて、ソフトも含めてでございますが、そういうものを、より具体的な施策として検討していった盛り込んでいきたいと考えております。

まずは事務局から提示させていただいた資料を参考に委員の皆様方に三宮周辺地区の目指すべき方向性や課題について、共通認識を持っていただきまして、その後、神戸市が三宮周辺地区の再整備基本構想を策定するに当たりまして、三宮周辺地区の方向性に沿った現状の課題を解決するための取り組みとしてどのようなものがあるか、それは具体的な内容としてどのようなものができるか。また、今後、どのようなことをしていくことが必要なのか、そういうものをご意見としていただきまして、それを神戸市のほうで参考にさせていただきまして、基本構想をまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## (2) 意見交換

○会長

ありがとうございます。

それでは、これから皆様方のご意見をお伺いしたいと思います。

加藤先生は、これまで三宮周辺地区につきまして、研究会等でご提言等をしていただいておりますが、今回の方向性、取り組むべき内容につきまして、まず、ご意見をいたします。

○委員

三宮周辺地区の再整備は、これまで市長からもお話がありましたように、都心全体が変

わっていく引き金の部分だと思います。周辺の都市、大阪や姫路、京都も随分大きく変わり始めていて、それに比べて神戸はややおくれた感があるというような指摘もあったようです。ただ、いずれの時代も順番というものがあるわけで、今、皆さんと議論しつつ、しっかり始めるというのが大事だと思います。

私自身が考える都心像を、一言で言うと、社会、経済、あるいはまちの変化に柔軟に対応できる、ある種の流動性を持っているということで、流動化というのが重要な、これからのキーワードになっていくのではないかと思います。

再開発をしたときに、過去からの経緯とか、既得権益も含めて、テナントが固定化されている所は、どうしても人々の価値観や、社会の動きに対応できなくて、大変厳しい状況に直面することが多いわけであります。では、三宮周辺を一体どう流動化するのかについては、ぜひとも、皆さんからのご意見を聞きながら、私自身も、これから勉強していきたいと思います。三宮周辺のテナントミックスをうまくできるような仕組みや、仕掛けというのが、重要なのではないかと思います。そうすることによって、地域外からの、神戸外からの、さまざまな投資の対象になると思います。

他の地域の力も奪い取りながら神戸だけ、都心だけがよくなっていくなどということは、こういう時代にはもうあり得ないことだと思います。むしろ他の地域と、どのように連携、連動して、全体がよくなっていくのかということ、この三宮の再整備を引き金に、ここで議論していくことが必要だろうと思います。

まちづくりに関しては、さまざまな制度、仕組みが、提案されてきています。大阪ではB I D、これはアメリカ発祥のビジネス・インフラ・ディストリクトという手法ですけれども、これなども制度化されているようです。あるいは、もう少し大きく経済的な展開で言えば、政府は国家戦略特区という、かつて神戸が提案したエンタープライズゾーンを進化させたような姿を提案したり、他にも都市計画、建築にかかわる制度上の新しい仕組みが、世界的に動いていると思います。そうした制度も駆使しながら、まち全体の流動性を高め、常に魅力があるものとしていき、人が集まりお金が集まる、そういう構図をつくり出していくことが重要ではないかと思います。

○会長

ありがとうございました。

流動化という非常に興味のあるキーワードを示していただきましたが、B I Dについて、簡単にご説明していただければ、皆さんのご理解が深まるかと思います。

○委員

B I Dは、1980年代にニューヨークで始まったと伺っておりますけれども、ビジネス・インフラ・ディストリクトの略で、地域の地権者や事業をされている皆さんに、税金ではないのですが、若干、それに上乗せするような形で資金を提供していただいて、その地域の課題解決のための仕組みをつくったり、投資をしたりというようなことで、ア

アメリカでスタートして、随分成功していると伺っています。私も、幾つかの事例を見ましたけれども、大きな役割を果たしているようです。

現在ではヨーロッパのほうでも、B I Dは動いているはずですよ。

#### ○会長

積極的に民間の活力を生かそうという趣旨だと思うのですが、都市計画・まちづくりの視点から、いかがでしょうか。

#### ○委員

都市と駅との関係というものを考えたときに、多くの駅というのは近代の技術なので、多くの歴史的な都市においては、駅は大体町外れにあります。後から作っていますので、駅は町の真ん中じゃなくて、町外れにある、これは普遍的な事実です。でも、神戸は明治時代に近代の都市づくりと駅の整備を一緒にやっているわけですが、都市と駅との関係というものを、うまくつくれてこなかったのかもしれないと思います。あるいはつくってきたものの、人の動きだったりとか、都市構造の変化の中で、うまく流動性を生み出してなかった。あるいは、元町と三宮という二つの拠点がある中で、駅と都市との関係が、うまく都市構造的に整理できなかった。そういったところで都市と駅との関係が難しい状況になってしまったと思います。

その結果、駅の周辺に十分な空間が確保できない、逆に言うと、それが特徴かもしれないと思います。大きな駅前広場を作るわけではないけれども、三宮らしい、そういった駅と都市の関係のつなぎ方を、どういうふうに考えていくかということが一つあると思います。そうしますと、何ができて、どう動いて、どこのお店につながってという、基本的な人の動かし方をどうしていくのか。私は神戸は歩く町だと思いますので、巨大なものをつくるのではなくて、つくらないことによる魅力づくりもたくさんあると思いますし、そういうスケール感がある町ではないかと思います。

それから、やはりデザイン都市としてのクオリティーというものは、神戸にとって、非常に重要なポイントだと思いますので、その点も大事だと思います。そう考えると、いろいろな資料はあるのですが、縦割りに書いてありますので、これをもう少し空間として、町として関係性を意識すれば、議論のテーマというのは見つかっていくのではないかなと感じております。

#### ○会長

ありがとうございます。

駅と町とのつなぎ方という観点で、横断的に、もう少しいろんな分野の中で直してみてもどうかという、大変興味のあるご指摘をいただきました。ありがとうございます。

デザインのクオリティーを高めるという、点も指摘していただきました。

神戸では3層構造のネットワークというのを従来から進められているんですけども、ご専門のユニバーサルデザインも含めまして、コメントをいただければと思います。

## ○委員

ユニバーサルデザインが専門ということで、こうべUD都市づくり交流会のコーディネーターを務めさせていただいています。その中では、訪れたいくなるまち神戸、外来者に優しいまちは住んでいる人にとっても優しいまちだということで、いろいろな活動をさせていただいています。先ほど、市長からもお話がありました3層ネットワークというのが、神戸の場合、残念ながら途切れているところがあります。地上面ではつながってはいますが、地下では一部階段が残っていますし、地上への出口が結構制限されています。空中階でも、やはり円滑につながり得ていないというところが、少し残念なところだと思います。

あるいは、これも市長からございましたが、バス停がわかりにくい。やはり初めて来た人にとってストレスなく動けるとというのが望ましい町のあり方かなと思います。もう1度、神戸に来たいくなるということ、情報面、移動面でストレスを少なくしていき、実現できればいいのかなと思います。私は、神戸にやってきて、もう35、6年になりますが、神戸を愛しておりますので、ぜひ、すばらしい町になっていただきたいと思います。神戸は非常にコンパクトなまちというよさがあり、東京や大阪のように大きくなってしまうと、回遊性というものが失われていきますので、このコンパクトさを売りにしていけばいいのかなと思っています。

## ○会長

ありがとうございます。

もう一度、ユニバーサルデザインという観点から駅前を見直していくという、非常に大事なお指摘をいただきました。ありがとうございます。

## ○委員

前回の神戸の都心の未来の姿検討委員会の際に、三宮の駅前が一番重要ですということをお申し上げまして、一部重なりますが、以前、神戸の都心というものをどんなふうに皆さんが感じられているのかということをお調べしようとして、絵はがきや観光ガイドブックなどを調査しました。そうすると、北野、旧居留地、ウォーターフロント、夜景というのが神戸の代表的なものとして出てくる。ところが、他都市と比べると、他都市では、駅前空間に、ある種の快適なパブリックスペースがあって、そこを必ず、一つの名所として紹介されているのですが、神戸の場合、逆に駅前が全然出てこないというような状態になっています。

そういう点でも、神戸の顔をつくっていくということで、これらの神戸を代表する地区の結節点としての三宮駅を中心とした、そしてまた、三宮駅は、1キロ、2キロぐらい先に、もう海と山を控えたというような立地的な特性もありますので、この駅を中心とした快適なパブリックスペースのようなものをいかに作り出せるのかなど。そのためには、今、機能的にも、非常に複雑ですし、個々にいろんな事業が進んではいますが、国道2号の南側、マルイやそごう、ハローワークのビルから北側の駅東ぐらいままでを一つの空間と

見立てて、この中で、駅前の快適な空間をどうやってつくっていくのか、そして南北をいかにうまくつなぐのか、そして、駅に来た人にいかに海や山を感じさせるのかといったことを、やや広いエリアで捉えた上で考えてみる必要があるというのが、デザイン寄りからの発言です。

○会長

ありがとうございます。

三宮周辺地区で、快適なパブリックスペースをいかにつくっていくことが重要であるということ。

先生方には、非常に大事なキーワードを上げていただいて、本当に、勉強になりました。ありがとうございます。

三宮は、推計によりますと一日65万人の方が鉄道駅で乗降されていると、これは大変なポテンシャルであるわけです。そこで交通事業者の皆様方に少しご意見をお伺いしたいのですが、阪神さんは、駅東口改札を整備されまして、その効果といったものをどういうふうに感じておられますか。

○委員

私は直接、鉄道部門の担当ではございませんので、個人的な感想も入りますが、東改札の供用を開始いたしまして2年ほどたっています。当初の想定といたしますか、目指すべき東改札と西改札の乗降のお客様の割り振りでいいますと、もう少し東に流れてほしいという思いはあるようですが、やはり徐々に東のほうへの流れができていくなというのが、実際、私も通勤に東改札を使っておりますので、日々、見ておりまして感じています。また、さんちかとも、すぐに接続していますが、私どもの東から西に行くところの、さんちかの通りの人の流れは、非常に増えたというお話はよく伺いますし、また、ミント神戸への連絡も、新しい出口ができたという形になりますので、非常に人の流れが変わったというところは実際あるのかなと感じております。

○会長

後ほどまちづくり協議会の皆様にも、その辺の実態を披露いただきたいと思いますと思いますが、そのほかにいかがですか。

○委員

東改札の供用開始に続きまして、昨年には西のほうも含めまして駅改良を全て完了いたしました。もともとの三宮駅というのは、皆さん、よくご存じのように、非常に天井も低くて、駅改札を出たところの空間も非常に狭くて、何となくごちゃごちゃした印象のある駅だったのですが、古い構造のアーチ型の天井をあえて見せることで空間を広げましたし、先ほど先生のほうから山や海を駅で感じられるようにというお話もございましたが、駅全体の空間デザインのコンセプトが海ということで、天井の波状の形状の中に間接照明を仕込んだり、古さと新しさを融合したようなデザインになっていまして、非常に多くの方に

ご好評をいただいております。たまに中学生たちがハリーポッターみたいな駅だという話をしていたり、阪神は、きれいになったみたいなお声もよくいただいたりしています。現場の鉄道の者と話をしていて、一つ印象的だったのが、壁面に植栽を施している壁がございまして、そこに三宮とアルファベットで記載しているのですが、そこで記念撮影をされる方がいらっしゃるということです。もちろん何の名所でもないのですが、神戸が感じられるようなワードがあり、写真がとれるような少しきれいな空間であったからかなと思いました。やはり、外から来られた皆さんは、神戸を感じられるスポット、空間というのを求めていらっしゃるんだなと少し感じたところでした。

○会長

ありがとうございます。

阪急さん、いかがでしょうか。やはり駅というのは表玄関ですし、今後、三宮にかける思いのようなものをご紹介いただければと思います。よろしく願いいたします。

○委員

神戸の特徴としては、陸海空の主要な交通機関が全部集中して整っていますので、東西方向の鉄道を含めて非常に充実しています。海と空港は南側にあり、高速道路が六甲山の裏手側にあり、新神戸駅が六甲山の麓にあります。交通の南北軸をもう少し強化すると、全国からのお客様が国土軸としての新幹線、港、空港などから来ていただくときに便利になる。それがちょうどクロスするのが三宮駅ですので、その三宮を活性化するのは、非常にプラスになるのではないかと考えています。

幾つか公共交通の課題が出ていますが、事業者側からしますと、これまでいろいろな計画があって、特に鉄道の計画としては運輸政策審議会や10年ほど前の近畿地方交通審議会の答申で、交通的に、将来こういう整備をしたらいいというのがプランとして幾つか上がっているようです。その中で幾つかは実現しているようで、具体的には近鉄と阪神の乗り入れ、阪神なんば線というのも実現しましたし、先ほどお話がありました阪神の東口の開業によって三宮駅東側地域とのアクセスがよくなることも実現しています。

また、阪急神戸線と神戸市営地下鉄の相互直通運転を考えられないかということも検討すべきプランの一つに上がっているようです。それについては、まだ、具体化されていないので、三宮の再整備を、交通ということで考えますと、東西方向の一つの軸として、もし、地下鉄と阪急神戸線を相互直通していただくと、東西方向の乗りかえはなくなります。また、参考資料でお配りいただいた、三宮周辺の地図を見たときに、薄い赤のハッチングで書かれているところが、地下の通路を示していると思うのですが、この地下道を見ますと、それぞれの駅やセンター街を含めての地域を、地下でかなり結んでいるということがわかります。3層ネットワークですから、地下だけではだめだと思いますが、地下ということで目を向けてみますと、仮に地下鉄と阪急神戸線を三宮のあたりで地下で結ぶとすると地下鉄と阪急神戸線、阪神神戸三宮駅、それから、市営地下鉄の三宮・花時計前駅は、

全て地下で結ばれます。

J Rは地上にあり、ポータルライナーはJ Rよりも少し高い位置にあります。その接続箇所が2、3カ所ぐらいになりますので、整備もしやすくなるかなと思います。それに駅を含めた3層ネットワークを結べば、非常にコンパクトで乗りかえが便利になると思います。

それと南北交通をうまく組み合わせたような、交通ネットワークができれば、十字にクロスすることになり、非常に利便性が高まり、ますます発展するのではないかと思います。東京の相互直通運転の最近の事例でいうと、渋谷駅ですが、東急と幾つかの私鉄がメトロを介して鉄道で結ばれることにより、非常に広域からの人の動きが出てくるということで、これから10年、15年かかるかもしれませんが、渋谷駅周辺でダイナミックな開発の構想が進みつつあります。そういう意味では相互直通運転は、一つのインパクトになるのではないかと考えています。

○会長

ありがとうございます。

いろいろ具体的なお話をお聞かせいただきまして、ありがとうございます。

J Rさん、いかがでしょうか。

○委員

先ほど市長のご挨拶の中でも駅ビルが具体化しつつあるというお話がありましたが、まだ、具体化はしてなくて、さまざまな検討をしている段階です。ですから、先ほど会長がおっしゃったような、三宮にかける思いということだけ、申し上げたいと思います。京都、大阪、姫路などの都心が、この15年ぐらいで、かなり大きく変わってきてまして、それなりに、どこも集客力を発揮しているというのを目の当たりにしています。私どもも、その幾つかには関わっていますが、そういう状況から比べますと、三宮は、この数年間の動きという点では、あまりないというのが実情だと思います。

去年ぐらいから、外国人観光客がすごく増えていて、大阪に行っても京都に行っても、多くの外国人がいるというのが実感としてあります。ではこの動きをもっと神戸のまちの活性化につなげていきたいと思ったときに、神戸は、港があり外国人がたくさんいるというイメージがありますが、実は、イメージに反して、今、街中を歩いている外国の方というのは、京都や大阪と比べて、あまり多くないように感じます。

ですから、外国人を、引きつけるような魅力というのを、都心エリア、特に三宮周辺で、つくっていくということも重要ではないかと思っています。

私どもは、鉄道事業者ですので、まずはお客様を、外国人だけでなく、日本人のお客様もたくさん神戸に運んでくるということが仕事だと思いますけれども、それに加えて、私どもができることは、駅をきれいにしたり、駅の魅力を上げたりということだろうと思います。

そういったことをしっかりやりながら、周辺に商業施設など、さまざまな施設がありますので、相乗効果を上げれるように、例えば、いかにして駅からの回遊性を上げていくかなど、これから検討を具体化していきたいと思っています。

○会長

ありがとうございます。

交通局さん、いかがでしょうか。

特に地下鉄からJRや阪急への乗りかえは多いように思うのですが、そういう利便性のことも含めてまして、何かコメントをいただければと思います。

○委員

まずは、地下鉄の乗りかえですけれども、山手線と阪急につきましては、阪急のビルの話もございますので、お互いに行き来がしやすいような形になるよう、今、話を進めています。JRとの乗り換えにつきましては、エスカレーター、階段、エレベーター等がございますので、ある程度整っていると思います。

バスについては、市長や委員の先生方からも出ておりましたように、バスターミナルの問題がやはり一番かなと思っています。都市周辺では、神戸駅には、ある程度の大きさのバスターミナルがございますが、三宮はバスターミナルの大きさが十分でないので、バス停が三宮駅を中心に東西南北に分散しています。

そういう中で路線バスと観光バス、どちらもが入り込んでいるということで滞留の仕方変わってきますし、それから、特に公道で言いますと東急インの前の横断歩道のところで、南北に走るバスと横断歩道を渡る方が交錯しますので、なかなかバスが出にくいというような状態もございます。ターミナルをつくるときに、そういう人の流れも考慮しながらつくっていただけたら、バスがスムーズに動いていくかなと思います。ただ、バスの利用については、例えば、三宮駅北側のフラワーロード沿いのバス停であれば駅から出てすぐに乗れるという便利もありますので、全てを一つのターミナルに集約するというのではなくて、ターミナルに集めるものと、そうでないものという分け方も必要かなと考えております。

○会長

バスターミナルにつきましては、後ほど事業者の皆さんからもお伺いしたいと思います。新交通さんいかがでしょう。どんどん需要が増えて足らなくなるというか、そういうことはありませんか。

○委員

現在、大体6万人を超える乗降客数がございますして、ポートアイランドへの輸送力が非常に重要になってまいりました。そこで新たに2編成の増備をかけて、三宮からポートアイランドへの輸送力を強化していきたいということがございます。

そういった中で、三宮駅はたくさんの方が並ばれて乗り降りされますので、例えば車両

が故障して少しでも時間が遅れたりすると、たちどころに改札、あるいは改札の外までお客様が滞留せざるを得なくなるような状態になります。また、大きなコンサートなどがあるときには、お客様が一度に集中します。このように三宮駅は、スペースにゆとりがなく狭いですし、あるいは階段等にお客様が待つていただくようなことになると、安全性に問題があるのではないかと思います。

そういった意味で、今回の三宮の再整備で、JRとの連携の中で、そういうゆとりのあるスペースを持てれば、お客様に対するサービスがもう少しよくなるのではないかなと思っています。

○会長

ありがとうございます。

引き続きまして、バス事業者の皆様方にご意見をお伺いしたいと思います。

これは非常に難しい問題ですが、駅前のスペースが非常に狭いのですが、それでもどこかにターミナルを集約化するのか、それとも分散配置で案内を工夫するなどして機能を果たすのか、その辺、いろいろ議論があると思いますが、いかがでしょうか。

○委員

まず、今回、長年の懸案事項を問題として取り上げ事業化を含めて議論しようということについて本当にお礼を申し上げたいと思います。

委員の皆さんに、共通の認識を持っていただくために、なぜ今のような状態になったか、この辺の話をしてしますと、一昔前までは、神戸市バスを中心に市内のバスが、JR、阪神、阪急へお客様を運んで、バス・アンド・レールですね、そこから電車で目的地へ行くということでした。そんな時代が長く続いた。これが一挙に変わったのには、二つ事情があります。一つは高速道路の発達です。これには明石海峡大橋の開通も含まれます。

もう一つは、関空を含む、インバウンド、アウトバウンドを含めて、空港の利用者が激増したことです。この二つが一番大きな原因で、今、三宮周辺にバスがあふれています。それに対応するキャパを持っているのが、ミント神戸と神姫バスのバスターミナルの二つしかありませんが、いずれも、もうオーバーフローの状態です。したがって、必然的に路上へはみ出しているというのが、今の実態です。

路線バスは、他都市にもありますように、道路上でお客さまを乗降させる。これはやむを得ないと思いますが、高速バスとリムジンバスは、一点集中型にしないと利用者は非常に混乱します。したがってそういう形を検討していく、ちょうどいい機会だと私は認識しています。

具体的な案はたくさん持っていますが、今回は、以上で終わります。

○会長

関係者の皆様方で一度議論をしていただいて、この場でも結構ですし、ぜひ市へ提案していただければと思います。

## ○委員

私はバス事業者でもありますけど、ミント神戸の下にあるバスターミナルを各事業と共同で運営しており、その事務局の代表も務めています。先ほどお話がありました通り、このバスターミナルが原因で交通渋滞が発生しているということですが、今、おっしゃったような経緯も含めて、現在キャパが一杯で、最大限活用していると言っても過言でない状況にあります。どうしても一般車との関係において渋滞が発生するという事になっていきます。三宮の駅前を交通体系も含めて抜本的に見直すことができるなら、将来的な対応としてターミナルの立体化も含めて検討する必要もあると考えます。実際、名古屋、博多、大阪の難波など、立体ターミナルをつくっているところもありますから、技術的にはできないわけではないと思います。しかし、今のターミナルの上には建物が建っていますし、権利関係などを含めて考えると立体化というのは事実上不可能だろうと思います。

そうすると、現実的な対応としてあちらこちらに分散して配置せざるを得ないので、いかにバリアフリーで乗りかえや利用ができるかということが重要ではないかと思えます。

例えば、ペDESTリアンデッキでつなぐ、あるいは乗り場の案内を充実させるなどが考えられます。高速バスターミナルや神姫バスのターミナルという案内はありますが、どのターミナルに行けばどこへ行けるという乗り場の案内が、非常に少ないです。時刻表も含めてそういう案内が、ここへ行けば見れるという拠点のようなところがないので、三宮に来たときにバスに乗ろうということにならないです。実際、いろんなところへ行こうと思っても、それなら歩いたほうが早いという感じがしてしまいます。

こういう会議があるので、外から神戸に来る人は新神戸と神戸空港に、まず降りるだろうと想定して、そこでの案内がどうなっているのかというのをあらためて見てみました。もちろん乗りかえ案内はあります。それぞれの施設においては案内も充実してきています。デザインも一新されています。

ところが、三宮まで、それぞれ地下鉄とポートライナーで行きますが、案内には、三宮の情報としてJR、阪急、阪神に乗りかえられるということが書かれているだけです。

ですから、神戸空港や新神戸駅に降りた方は、三宮には、そういう乗りかえの手段がある、あるいは三宮は乗りかえの拠点としての機能があるというのはわかりますが、三宮エリアに何があるのか。あるいは、そこから神戸のどこへ行けるのかということが情報として書かれていない。当然、バスターミナルという文言もない。そういう状況ですから、三宮エリアが単に乗り換えの拠点というだけでなく一つの名所として、例えば、横浜のみなとみらいのような、三宮を総称するようなイメージと、実態あるエリアになることが必要だと思えます。それに加えて三宮を神戸の玄関口というならば、そこからどのような手段を選択すれば神戸のどこへ行けるのかということがわかるような案内表示や情報提供などが、神戸空港や新神戸駅に必要ではないかと思えます。

## ○会長

ありがとうございます。

○委員

関西空港が開港してから、今年でちょうど20年を迎えます。開港当初から中央幹線沿いにバス乗り場を設置しており、今は東西に分かれるような形で乗り入れをしていますが、いまだにお客様から、空港行きのバスの乗り場はどこですかと、もしくは降り場はどこですかという問い合わせがあります。

今回、再整備ということで、バスターミナルは、例えば三宮駅の南側にあるなどと、お客様にわかりやすく案内できる、ご利用いただけるというところは、考えていただけるようお願いいたします。

○会長

ありがとうございます。

○委員

私どもは、この神戸三宮においては、大阪国際空港と神戸三宮を結ぶリムジンバスを運行している組織体であるということで発言させていただきます。昨年協議会の事務局である大阪空港交通という会社が50周年を迎えまして、その当時からの神戸三宮の路線は、大阪空港と三宮、大阪、京都という、いわゆる京阪神の三都市圏を結ぶ、主要な路線の一つということで、ずっと運行してまいりました。

当時の資料をひもときますと、三宮駅周辺の、公道の一部をお借りして運営しており、過去には、三宮駅の南側にあった新聞会館の前であったり、当時あった航空会社の支店の前であったりというふうに点々としており、今現在は交通センタービルの横から発着しています。

私どもの乗り場と降り場が道路を挟んで反対側にあり、リムジンバスを使われるお客様にとって、降車する場所と、乗車する場所が違うということは非常にわかりづらく、特に他府県から来られる方は、地図が頭に浮かばないので、説明が難しいです。そういった乗降場所の整理ができたらと思います。あと、先ほど申し上げましたように、現在公道上を利用させていただいておりますので、こういったバスターミナルの整備を検討する中で公共交通の相互の円滑な乗りかえということで、神戸の方はもちろん、県外の方も観光等にご利用いただいておりますので、乗りかえがわかりやすくできるように進めていただきたいと、思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

タクシーは、公共交通機関を補完する選択交通機関であり、バスや鉄道が主幹でございます。一番はバスや鉄道の問題を解決することが重要なんですけども、今、65万人ぐらいが神戸で降りられるという話を聞きましたが、基幹のJR、阪急、阪神等の鉄道が、基

本であると思います。そこからの乗降客があつてのまちの発展であります。その中でアクセスが悪く、段差等もあり、乗りかえが不便という問題があるのでその辺を再構築していただきたい。

そして、その補完としてターミナルの問題もございます。タクシーも乗り場が完全に確保できていない。タクシーは補完的な公共交通機関でございますが、これから高齢化社会に入ってくるとUDという問題にバスだけでは、対応できない。そういう中でタクシーは、ドア・ツー・ドアという利点があり、これから大いに必要になるのではないかと思います。

また、再開発をするなら、ぜひともまちの活性につなげていただきたい。観光客を増やしてにぎわいを創出する等、人なくしてまちの活性はないと私は思います。その中にスペースのゆとりは現在の技術だったらできるんじゃないかと思います。立体化とかいうようなものにして、極端に言えば、二層で走るような時代が来るのではないかと思います。通過する車と、その中における車と、そういうこともあり得る時代がまた来るんじゃないかと思つてます。タクシー業界としては、今後の高齢化の中において必要な交通機関として、アクセスしやすい乗降スペース、また、人のぬくもりが感じられるような体制など、勉強して、頑張っていこうと思つています

#### ○会長

ありがとうございます。

限られた空間の中で鉄道、バス、タクシーの交通拠点としての機能をどう発揮していくかというのは、この地区に課された大きな課題だと思つています。引き続き、議論を進めてまいりたいと思つております。

さて、次に経済界の皆様方からご意見をお伺いしたいと思つています。

#### ○委員

経済界ではおとしぐらいからさまざまな議論はさせていただいているんですが、今日は私見も含めてお話をさせていただきますと、やはり三宮駅を中心に動線が非常によくない。その動線というのは、歩く動線で、東西は、まだいいというお話もありますが、実は、必ずしもそうとは言い切れない部分がかかなりあります。地下でつながっていると言いながら、階段があつたり、デッキでつながっていても、デッキに階段があつたり、そういった物理的な問題もあります。そして何よりも、もともとインフォメーションは狭いとはいえ、三宮駅を降りてすぐの比較的よい場所にあつたはずなのですが、今はどこにあるかわからないところに行つてしまいました。このように問題は非常に多くあるのかなと思つています。

今後、ぜひ、議論をしていきたいと思つるのは、三宮を考へるときには、当然、三宮駅を中心にどういうまちにするかということになると思つていますので、まちをつくり変えるということではなくて、逆に今あるまちが、どういうふうになっているかというのを共有すべきだと思つています。

特に、三宮駅を中心に東側が、どちらかいうと住んでいらっしゃる方が非常に多いエリ

ア、西側は商業地域、北側は飲食街などが多い地域というように、おおむねなっていると思いますので、そういったところもありますので、そういったことを考えたときに、例えば、今の駅の構造、出口の位置であるとか、そういったものが今のままでいいのかどうか考えてもいいのかなという気はしています。

三宮といっても、かなりいろいろな顔がありますので、その辺も含めて議論していきたいと思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

経済界というと、営利が目的であり、また既得権益を守り利益誘導的なことを考えているのではないかと思う方が多いのですが、神戸の経済界で活躍している企業の人たちはみんな、地元の方が多く、いわば、企業市民的な見地で、愛する神戸を何とかしたいと思っています。そしていろんなところに、不満があるというのが今の実態です。

そんな中で、経済界の中でばらばらに話をしても仕方がないということで、経済同友会、青年会議所、神戸商工会議所、この三者で海港都市づくり研究会というのをつくりました。それで、この春に意見書をまとめて市長にも提出したところです。

また、神戸商工会議所では今年度からハード、ソフトを含めた町の魅力を創造しようということで、都市力創造委員会と委員会の名前も変え、守備範囲も広げて、新たに発足しております。その都市力創造委員会の委員長を、私が務めています。

今年の春に提案しましたものには、四つの大きな項目があります。一つ目はデッキ広場の整備、二つ目はバスターミナルの再検討、三つ目はJRの東改札口の新設や西改札口の整備、そして、四つ目にインフォメーションセンターの再構築です。

この会は実践的な活動に入っていくと私は、理解していきまして、そうなりますと、時間がかかることもあれば、比較的すぐにできることもあればと、いろいろありますので、時間軸を意識しながら、大変になるかもしれませんが、私が今、懸念していることを申し上げたいと思います。

先日、発表されました、阪急の新しい駅ビル、そして、以前から発表されているJRの新しい駅ビルの話があります。これらはまだ構想段階ということですが、動き始めているのは間違いない。また、私も経済界の人間ですから、民間企業の自由性というものは十分に尊重しなければならないと、思っています。

しかしながら、今、三宮周辺、コンパクトさを売りにしたらどうかというようなお話が皆さんから出てますし、バスやタクシーの乗り場についても、乗り換えについても、ごちゃごちゃしているということも共通認識としてあります。全く、最初の神戸市長のご挨拶にあった通りだと思います。そういう意味で、三宮を見たときに、一つはハードの面では、南へ行くほど地面が下がっていくという、ここらが非常に難しいところであると思います。

そんな中で、阪急、JRのターミナルビルの構想が動き始めているならば、そういったビルの中のレベルの調整か、できるだけ上がったたり下がったりしないでいいようにすべきであろうと思います。

そして、同じビルをたくさん建てましょうというわけではありませんが、そのビルはデザイン的にも景観的にもある種の統一性がある方がよいと思います。神戸らしさを出した上で、その形状や外観、その色合いなども含めて、やはりシンボルになるような、駅ビルをつくっていただきたいと思います。

ただし、それはどこかの都市のような、一大商業ビルをつくるのではなくて、コンパクトさを売りにしようという周辺部分を含めた話ですので、東口の提案もしてるわけです。ぜひ、その商業ビルは、神戸の面的にコンパクトな部分を生かし、三宮の発展や、回遊性の向上というようなことを中心に置いて考える中で、いわゆる商業施設ではなく、しかるべく、用途についても考えていただきたいと、思います。

最後に、もう一つだけ、今年さんちかは50周年を迎えます。阪神が東口をつくり、西口を整備し、駅の中もきれいにし、大変立派なすばらしい地下の玄関をつくっています。さんちかの50周年ではいろいろな見直しもするというような話も伺っていますが、神戸市が関連する、JRさんが株主としては随分大きくなられたようでもありますけれども、ぜひさんちかというのも意識していただきたいと思います。

それから、行っていただいたらわかりますが、交通センタービルはさんちかに入って行く一番大きな玄関ですが、天井は低いし非常に貧弱であると思います。また、地震の影響を受けて、いわばとりあえずの再整備、再開をしたというビルでございますので、かなり年数がたっているのは間違いありません。三宮再整備の一環の事業として、交通センタービルについても、阪急やJRの駅ビルの整備とあわせて、神戸の顔として、あるいはできるだけレベルをそろえるように整備をしていただければいいなと思います。この会議では現実的なことを議論すると思いますので、具体的に、これをやらないといけないのではないかというふうなことを申し上げてみました。

ただ、中長期的に、三宮駅の東側や北側の整備というものも出てくるであろうと、思います。

○会長

ありがとうございます。具体的なご提案を、いろいろといただきましてありがとうございます。

○委員

今、お話しになったことを、補足するような形になりますが、皆さんの頭の中で、イメージをしていただきたいのですが、ミント神戸のところに、南へ渡る横断歩道橋があります。それから交通センタービルのところにも横断歩道橋があります。あの間を全部デッキにしようという案を書きました。

そのデッキは、全部ふさいでしまうと、下が暗くなるので、途中、穴をあけて下に明かりがとれるようにします。それでどこへでも行けるようにしようとして、南側は、そごう、西側はマルイのビルのところまで全部デッキにしようというふうな案にいたしました。

それから、その下に東西に走る道があり、その道の真ん中に中央分離帯があります。これの中央分離帯から、もう一、二本南へつぶして、そこを全部平地にしてバスターミナルを持ってきたらどうかという絵を描きました。

とにかく、バスに乗るには、そこへ行けば全ての発着がわかるというふうなものにしてしまえばどうだろうということを考えております。

国道2号線から西のところは我々である程度自由にできるのではないかと考えておりますので、そういうふうな絵を描きました。駅の北側は、タクシー乗り場にしたらどうだろうと考えています。

それから、ポートライナーはミント神戸のところから左に大きく旋回しますが、それをミント神戸のところからレベルを合わせて駅を持ってきて、JR、阪急をまたいで東側に少し緩やかにふって、そして生田川を上げて行って、新神戸駅まで上げていくというラインが引けないだろうかということも考えています。

今、申し上げましたことは、専門家ではありませんので、それを今から土木の関係の方や鉄道関係の方にいろいろ調べてもらわないといけないと思いますが、我々でも考えて少し研究をしていこうということまで話を進めております。

いずれにしても、生活者の方も、それから外部から来られた方も、どこへでも自由に行けて、そして自由に帰ってこれるという回遊性に、すごく重きを置きたいと考えておりますので、そんな図面を書いて、そして提言書という形で本年3月、市長に提出したということをご報告させていただきたいと思っております。

○会長

ありがとうございます。

これまでの議論をお聞きになられまして、いかがでしょう。

○委員

冒頭にも申し上げましたが、歩行者が回遊しやすいような形をぜひとも考えていただきたいと思っております。

私は新神戸にいますので、新幹線を降りて三宮駅まで歩いて来れますかということになると、数年前にやっと加納町の交差点に動線を1本引いていただきましたが、もし車椅子だったらどうかと想像してみると、全然三宮に行けません。加納町の鉄のブリッジ、あれ本当にあのようなものが要るのかなと、こういうふうなことを感じます。

歩いていると結構坂道ですので、歩きにくい。したがって、交通機関が必要だということになります。今、話があったのは、ポートライナーを新神戸へつないだらどうだということですが、沿線の人から見たら、何の関係もないというふうに感じます。

だから、住民の目線に立って検討いただきたいと思います。例えば、三宮駅に着いて、そごうまでどうやって行くのかと言うと、一旦、そごうの2階につながるデッキを渡って下さいと、こういうことですか。

本来は、接結点の大ターミナルというのは、東西南北に、動線をちゃんととっていただくということを考えていただくのが基本だと思います。あるいは加納町も東西南北に動線をちゃんととっていただく。

それから、非常に停車場が近いところにたくさんあるというふうなことをやっていただき、それを南までずっとつないで、大丸のほうにつないでいくのか、港のほうにつないでいくのか工夫は必要だと思いますが、ここに住んでいる、あるいは働いている人たちの立場でやってもらいたいと思います。

三宮駅については、あそこに商業施設をどんどん持ってくるという構想を、JRや阪急が、お持ちなのかどうかわかりませんが、果たして、そんなものが必要でしょうか。そうではなくて、三宮駅にはほかの都市にない研究開発機能というふうなものを持ってくる、あるいは病院的なものを持ってくる、あるいは学校を持ってくるというふうに、市民が全体が共有できるようなものを考えていただけないかということを感じます。

二つの大きな商業施設ができると、センター街や、さんちか、そごうはどうなるのかと大変心配します。

神戸の人口が減ってきているので、ミニ大阪というふうな観点ではなくてあくまでも神戸らしいものは何かという観点に立って、ぜひ検討を重ねていただきたいと思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

私が初めに、神戸に行かないと、見るができないというような特徴のあるものがないといけないと申し上げました。また、バスの問題ですと、例えば東遊園地を2階にして上に運動場を作り、その下を全部バスの乗り場にする、そういうことも考える必要があるのではないかと思います。

そうでないと、今、建ってるものをどうにかするという事になったら、とても時間がかかります。不動産を持っている人も欲が出てくると思いますし、東遊園地は、神戸市が自由にできる場所ですから、上に東遊園地を持って行って、その下をバス停にしたらくさんのバスが入ります。そうすると一度に解決すると私は思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

当協議会の地区の主要幹線である葺合南54号線は三宮構想会議の検討対象範囲である半径500mの区域に入っています。これは三宮駅から貿易センターや、みなとのもり公園、

ウォーターフロントにつながる通りです。

駅周辺の再整備と同時進行で、この辺のところも考え、歩行者に優しい町並みができればいいと考えております。ぜひともよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長

ありがとうございます。

○委員

神戸は大阪、京都に比べて遅れた感がある、また姫路に比べても遅れた感がある、そう言われるのは確かです。実際に商店街の会議でも、若い人達に遅れないように頑張ろうと、はっぱをかけていますが、果たして、そんな遅れた感という言葉でまちづくりを考えるべきかどうか。

例えば、神戸まつりは遅れた感があるということは言えるかもしれませんが、祇園祭に遅れた感があるという、そんな議論はそもそもないでしょう。

例えば、鎌倉の町に遅れた感があるか、そういう議論をすることを、鎌倉の市民が望んでいるのか。そういうことを考えた場合に、大阪に遅れないような町をつくろうという考え、それ自身がおかしいというのが私の意見です。

ですから、同じ尺度でよその町と比べて、それに負けないものをつくろうと、そういう考えはそもそも捨てましょう。神戸にしかないものをつくろうということです。例えば、その写真を見ても、大阪の町とは違うというのは明らかです。では、これを大事にするというのは基本的なことです。そういうことをきっちり押さえてやるということを、まず、みんなの共通認識として持つ、それがこの会議の目的ではないかと思ひます。

それと、この会議の目的について、三宮を考えるのか、三宮駅の構想を考えるのか、その辺の議論が少しごちゃごちゃになっている。例えば、神戸の玄関口は三宮であるという言い方をされる方もいれば、玄関口が三宮駅であるという議論も今日の会議の中でされています。では一体、どっちの話をしているんだということがよくわかりません。

しかし、それは大事な問題だと思ひます。この会議の検討対象範囲である半径500メートルの円の中で考える場合に、全体が玄関口があって全体が駅だという考え方もあります。先ほど経済界の委員が示されたような図も、三宮の交差点全体が駅ではないかという感覚から出てきたものだと思ひます。

ですから、私としては、三宮全体が玄関であって三宮全体が駅であると、そういう考えで、物事を考えるのが大事ではないか思ひています。

それでいくと、今、言われたバスの話ととても共通します。例えば、今日配られた地図では、駅が横に広がっていますが、駅というのは、結構広いところでも見通しさえよければみんな歩きます。新宿駅などでは、とても長い距離を、人は苦もなく歩くでしょう。三宮駅を、縦にして見てください。上から下に行くと、ちょうど下が東遊園地の辺になります。南側にデッキをつけて見通しがいいものをつくる。そうすれば、もう全体が駅だという

感覚になります。そして駅前広場を、トーテムポールがあるところにでもつくったらどうですか。同じように東遊園地にバスターミナルをすぐつくれるのではないですかということになります。

私としては、三宮の中心全体が駅であると、そういう考えでまちづくりをする、それが一番のポイントだと思う。

そうすると大事なことは、駅の中の見通しをよくするということです。例えば新宿駅は西と東が明らかなので迷いませんが、神戸では、北と南が明らかなのに三宮駅でみんな迷っているのは、山も海も見えないからです。山や海の見通しが悪いような町など、神戸の町ではありません。その辺のポイントをしっかり押さえて、みんなで協力して一つの駅をつくりましょうと、そういう共通認識をつくったらどうかと思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

物理的にもう少しきちんと整理しないといけないと思います。例えばバスのターミナルをつくるにしても、どれぐらいのものがどの程度必要なのか、これが皆目わからない段階では、東遊園地で足りるのか、足りないのかも、わかりません。

それと神戸市の半所有物でいうとサンセンタープラザというビルがありますし、ここもどうにかしていく必要があると思います。

それと、三宮町3丁目ですが、あらゆる市の統計には三宮に入っているのですが、これはどこなのだろうというのをいつも思います。実際、この辺にも目を向けないと、実は三宮全体がよくなったとはとても言えない。

そういう意味で言うと、元町と三宮の間には、例えば高架ありますが、その高架をどうするのか。また、中央幹線の片側3車線の道路があります。これも先ほど、真ん中の2車線をつぶして、バスのターミナルへ持ってくるとおっしゃっていましたが、これを全部デッキにしたらどうなるのか。

駅の中心線は、阪急は西に寄っており、JRは東に寄ってます。これを重ねて、駅という形で一つに構成し直したら、全体としてもう少し規模の大きなものにならざるを得ないと思います。

そしたら、そのときには、その面のつくり方は全く実は変わってくる。そういうふうにと考えると、今ある既存のものを別に整理し直すことだけでかなりのものが実際につくり直せて、仮に上に積むのであれば、いわゆる文化であったり、神戸がこれから競合しようとするものをそこに持ってこないと全く意味がない。

例えば、西宮には芸文センターがあります。でも、神戸は国際会館が辛うじてあるだけです。あとは文化ホールというのがあるだけです。そういうものを、どうして都心に持ってこれないんだろうと思います。



人が少なくなったからほっとするのかと聞きますと、そうではなく、神戸へ帰ってきたら、何となく神戸が持っている雰囲気を感じてほっとするという意見が多かったんです。僕自身も長年神戸に住んでいますが、その神戸が持っている雰囲気というのは、一体何なのか。その何となく神戸らしさというのは、昨今よく言われていますけれども、神戸らしさ、神戸らしさと言っておっしゃられても、抽象過ぎて、何が神戸らしさ、それから、これから向かってどういったことが神戸らしさ、どういったことが、例えば外国から来て喜んでもらえるのか、どういったことをおもてなしとして神戸は提供すればいいのか、いろんな問題がこれから考えていかなければならないと思うんですけれども、ここに示されている資料は、20年、30年のスパンなんですね。なるほどよくこれ網羅されて、わあこれもいいな、あれもいいなということが文書化されています。

でも、現実的に、文書どおり再開発を進めていったらいいのか、いやちょっと待てよというところもありまして、私が、今すぐにでもやらないとならないと思うのは、人への安全対策等、人に対して優しいまちづくり、そういったことを真剣に考えるべきだと思います。今まで神戸の施策というのは失礼ながら、継ぎはぎの部分が多くなって、しまったなという部分が振り返ってみればあったと思うんですよね。

ですから、京都の雰囲気というのは歴史的なよさがあって、神戸のハイカラな雰囲気と相反するところがあるんですけれども、それでもなお神戸に来ていただけるような、クルーザー等、外国の船も来て、いろんなおもてなしができるような状況にはなってきていますので、いろんな意味で今までと違う神戸らしさということについてこの場でも勉強できればいいなと思います。

○会長

ありがとうございます

○委員

今日の感想です。この会議は5回やられる予定だということなので、一回ずつの会議のテーマを決めていただくと、我々が事前にリサーチをしてきて、このテーマについてはこういう意見がありました等、考える時間があるのではないかと思います。

何か意見ありませんかと言われると、個々人の意見になって総論にならないと思いますので、会議の進め方、次回のやり方を工夫していただければと思います。

私は田舎から33年前に神戸に来ましたが、そのうち半分は東京に住んでおりましたので、ここにいらっしゃる、神戸にずっといらっしゃる方よりも、神戸のことは全然わかりません。

ただ、こういうまちづくりの話をするときに一番大切なのは、誰のためにまちづくりをするのかということだと思います。

観光客のためにするまちづくりでもなければ、通勤客の利便性のためにやるまちづくりでもない。やはりこの近隣に住んでいらっしゃる住民の方、それから、神戸市民の方がま

ちに出てきて何か楽しむというようなことのためのまちづくりというのが、一番のテーマになってくると思います。

前にマーケティングしたときに、神戸の市民というのは、夫婦で手をつないで歩くという人が関東よりも圧倒的に多いというデータが出てきました。でも、三宮が夫婦で手をつないで歩くというまちづくりになっているかということ、少し違うと思います。ですから、ハードの部分ばかりを先行するのではなくて、まちづくりのソフトのそういうイメージとか、先ほどちょっと出ました神戸らしさということのテーマも何となくイメージとしてわからない。じゃあイメージをもう少し具現化するようなテーマをつくるというような議論が若干あってもいいのかなと今日思いました。

○会長

ありがとうございました。

今日は初回ですので、理念から皆さんの思い、それからハード、ソフトも含めた具体的な施策等、いろいろご披露いただきました。また、先生方からはいろいろ大変貴重なキーワードも頂戴しております。

事務局は、1回目の議論をうまくまとめていただきまして、次回の会議の進め方を工夫していただきたいと思えます。

限られた時間ですので、具体的な検討につながるように、効率的に会議が進められるように、同じ議論を何回もしていくことがないように、ぜひとも工夫していただきたいと思えます。

本日は大変皆さん熱心にご議論いただきましてありがとうございました。

それでは、事務局にマイクをお返しいたします。

#### 4. 閉会

○三島都心三宮再整備担当部長

どうもありがとうございました。

多種多様なご意見をいただきましたので、次回までに整理させていただきまして、今後の会議の進め方につきましても考えさせていただき、次回以降の会議を進めるようにさせていただきたいと思えます。

また、今回ご意見をいただく時間が短かったので、十分なお発言ができなかったという方につきましては、今現在、配付させていただいております指定の用紙で記入していただきまして、ファクスやEメールなどの方法で送付いただきたいと思います。

第2回の構想会議については、10月ごろを予定しております。

日時、場所につきましては、決定次第お知らせしたいと思います。

それと、本日お手元のほうに、資料で黄色のチラシをお配りしています。「もっと聞きたい、みんなの思い～神戸の未来のまちづくり300人会議～」と題しまして、ワールドカフェ方式で神戸の都心並びに三宮のまちづくりについてみんなで一緒に考えていこうという会議を、8月24日13時から、場所はハーバーランドのホテルクラウンパレス神戸のザマーカースクエア神戸で開催したいと思っております。

できましたら、皆さん、お知り合いの人に声をかけいただきまして、できるだけ多くの方に、参加していただいて、みんなで議論していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

では、最後に住宅都市局長の山崎より、一言ご挨拶させていただきます。

○山崎住宅都市局長

住宅都市局長の山崎でございます。

委員の皆様におかれましては、本当に大変お忙しい中、また、今日は本当に暑い日でございますけれども、お集まりをいただきましてまことにありがとうございます。

2時間にわたりまして、本当に長時間でございますけれども、熱心にご議論をいただきましてありがとうございます。

最後、会長にまとめていただきましたように、事務局のほうで、議論がこれから実りあるものになりますように、できるだけ取りまとめをうまくして議論が前に進みますように工夫をさせていただきたいので、次回も、ぜひ皆さんにはご参加いただきまして、積極的な意見をいただきたいと思っております。

本日は、どうもまことにありがとうございました。

○三島都心三宮再整備担当部長

それでは、本日はこれもちまして閉会といたします。どうもありがとうございました。